

第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく 病床整備について

【平成31年2月12日開催埼玉県医療審議会資料】

- 資料2-1 病床整備の方針について 1
- 資料2-2 病床整備の今後の流れ 2
- 資料2-3 病床整備の方針に基づく圏域ごとの病床整備 3
- 資料2-4 病床整備方針を踏まえた圏域ごとの病床整備について ... 4

【第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書】

- 資料2-5 丸木記念福祉メディカルセンター 9
- 資料2-6 医療法人社団哺育会笠幡病院 13
- 資料2-7 医療法人愛和病院 17

病床整備の方針について

地域医療構想の医療需要推計及び各圏域の地域医療構想調整会議の協議状況を踏まえ、応募のあった57医療機関の計画を3つに分類し、以下の考え方を基本に病床の整備を進めることとします。

1 整備を進める計画（評価A）

（1）幅広く合意が得られた計画（A1）

- ① 地域医療における実績、貢献度の高いなど、地域医療構想の実現に向けて不足する医療機能を拡充することが確実に期待できる計画
- ② がんなどの高度専門医療、救急、周産期、緩和ケアへの貢献が確実に期待できる計画

（2）規模の見直しを条件として「（1）幅広く合意が得られた」計画（A2）

2 協議から除外する計画（評価C）

- ① 病床利用率が低い計画（既存病床で対応可能）
- ② 計画の実現性について強い懸念が指摘された計画（医療従事者の確保など）
- ③ 圏域内の他の医療機関と連携した医療提供が困難と判断された計画
- ④ 地域の医療需要と合致しないと判断された計画

3 継続して協議する計画（評価B）

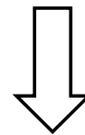
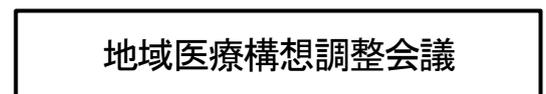
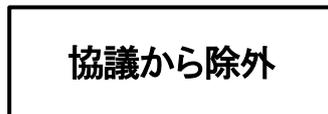
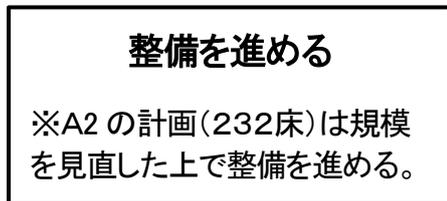
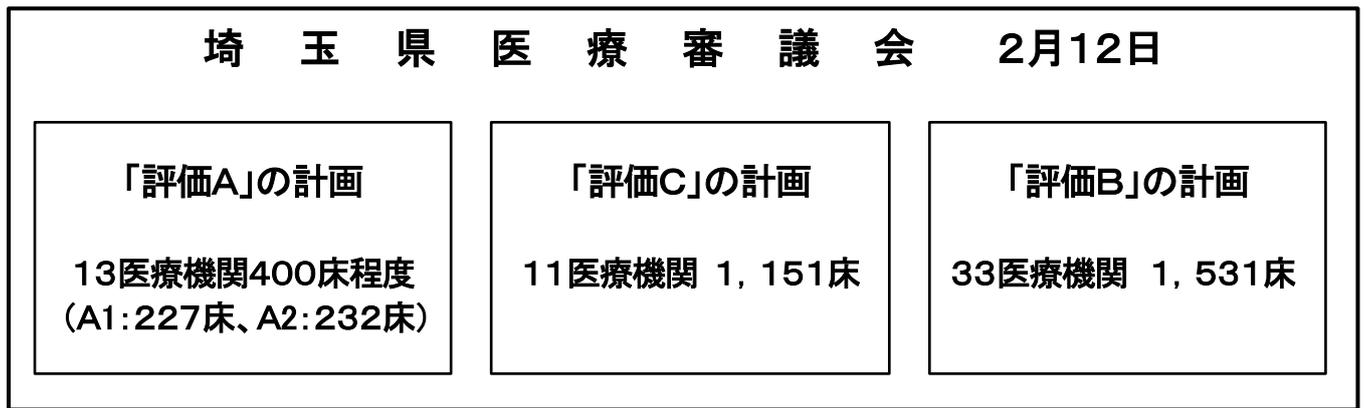
1、2のいずれにも該当しないもの。各圏域の地域医療構想調整会議で課題を再度整理し、改めて整備の是非を判断する。

【主な課題】

- ・ 地域の救急医療の状況や他病院との連携を勘案する必要がある
- ・ 現状では充足しているものの、今後の周辺の病床の整備による需要動向を勘案する必要がある（回復期リハビリテーション病床）
- ・ 市町村の介護保険事業計画による施設整備との整合性を図る必要がある（地域包括ケア病床）
- ・ 6次計画の増床が未開設のため開設後の状況を踏まえる必要がある

病床整備の今後の流れ

地域医療構想調整会議(対象7圏域)11月7日～11月29日(開催済)



病床整備の方針に基づく圏域ごとの病床整備

病床整備を進める計画

13医療機関400床程度（A1：227床、A2：232床）

保健医療圏	公募対象病床数 (整備可能病床数) (ア)	病床整備を進める計画 「評価A」		今後整備が 可能な病床数 (ア)-(イ)
		医療 機関数	病床数(イ)	
南 部	232	2	190程度 (A1:12、A2:232)	40程度
南西部	104	1	10	94
東 部	450	4	69	381
県 央	127	0	0	127
川越比企	325	3	71	254
西 部	193	3	65	128
利 根	207	0	0	207
合 計	1,638	13	400程度	1,230程度

※A2は規模の見直しが条件

(内訳)

保健 医療圏	医療機関名	所在地	計画 病床数	評価 (案)	整備 病床数 (案)
南 部	(仮称)川口リハビリテーション病院	川口市	232	A2	180程度
	前川レディースクリニック	川口市	12	A1	12
南西部	堀ノ内病院	新座市	10	A1	10
東 部	武里病院	春日部市	46	A1	46
	リハビリテーション天草病院	越谷市	4	A1	4
	永井マザーズホスピタル	三郷市	5	A1	5
	しらみず産婦人科クリニック	越谷市	14	A1	14
川 越 比 企	丸木記念福祉メディカルセンター	毛呂山町	50	A1	50
	笠幡病院	川越市	15	A1	15
	愛和病院	川越市	6	A1	6
西 部	埼玉医科大学国際医療センター	日高市	56	A1	56
	武蔵台病院	日高市	6	A1	6
	並木病院	所沢市	3	A1	3

病床整備方針を踏まえた圏域ごとの病床整備について

【川越比企】

	病院名	計画地	開設者	病床数	主な機能	今後の手続
1. 整備を進める計画	丸木記念福祉 メディカルセンター	毛呂山町	社会福祉法人 埼玉医療福祉会	50	地域包括ケア	・整備を進めるに当たり、地域医療構想調整会議に出席し、説明を行ってください。
	笠幡病院	川越市	医療法人社団 哺育会	15	緩和ケア	
	愛和病院	川越市	医療法人 愛和会	6	周産期	
2. 継続して協議する計画	病院名	計画地	開設者	病床数	主な機能	今後の手続
	三井病院	川越市	医療法人 豊仁会	50	地域包括ケア	※別紙「地域包括ケア病棟の継続協議について」の今後の進め方により行います。
	東松山市立市民病院	東松山市	東松山市	36	地域包括ケア	
	南古谷病院	川越市	医療法人 聖心会	20	地域包括ケア	
麻見江ホスピタル	鳩山町	医療法人 眞美会	18	地域包括ケア		
3. 協議から除外する計画	病院名	計画地	開設者	病床数	主な機能	今後の手続
	(仮称)藤間病院	川越市	医療法人 杏林会	325	回復期リハ 地域包括ケア	・計画の実現性、他の医療機関と連携した医療提供及び地域の医療需要との整合性に懸念があることなどから、継続協議から除外します。
(仮称)しらさき川越病院	川越市	白崎 泰隆	36	心血管疾患 救急		

地域包括ケア病棟の継続協議について

～「医療から介護、施設から在宅へ」「時々入院、ほぼ在宅」 ⇒ 必要性が高まる～

○協議会等での関連意見

- ・「地域包括ケア病棟が増えると介護老人保健施設の入所者が減るため、周囲の医療機関や介護施設と連携し介護サービスの状況も把握しながらやっていく必要がある。」
- ・「急性期病院が地域包括ケア病棟を有している場合、自院の急性期患者が優先されるため、他院から受け入れる病床は不足する。」
- ・「地域包括ケア病床が不足しているため自院完結型でなく地域全体からの受入が可能な病床整備が必要」
- ・「「医療から介護、施設から在宅」「時々入院、ほぼ在宅」の流れの中で地域包括ケア病棟が重要」
- ・「急性期を担う病院に患者が集中し、急性期の治療を終えた患者を受け入れる病床が不足」
- ・「回復期リハビリ病棟は充足しているが急性期病院からの重症な合併症患者の受け皿が不足」
- ・「訪問診療を担う医療機関の絶対数が不足している」

○地域包括ケア病棟の機能(役割)

- ①急性期治療を経過した患者の受け入れ (ポストアキュート)
- ②在宅で療養患者等の緊急時の受け入れ (サブアキュート)
- ③在宅・生活復帰支援
- ④その他の受け入れ

○2018年の地域包括ケア病棟の診療報酬改定

(新規の実績要件)

- ・自宅等からの入院患者の受け入れ
- ・自宅等からの緊急患者の受け入れ
- ・在宅医療等の提供
- ・地域医療機関との連携
- ・介護サービスの提供
- ・看取りに対する指針の策定

院内からの転棟ではなく、地域からの患者受け入れを重視

○今後の協議の進め方

- ・市町村の医療、介護関係者と地域包括ケア病棟、老健等の介護施設の現状と役割・機能について確認・共有
- ・次回の地域医療構想調整会議において継続協議対象医療機関が改めて、別紙様式「第7次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書」により説明・協議

(%) ●●施設から年間●●人 (%) 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人	(%) ●●施設から年間●●人 (%) 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人
医療（介護）連携見込み (※具体的に記入してください。)	
【増床前】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・ ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・	【増床後】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・ ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・

6 既存病棟の概要 (※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。)

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例)急性期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	(例)急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
診療科				
●●科、●●科、・・・				
診療実績				
○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）				
○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）				

7 医療（介護）連携における課題、問題点

- 急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか
- 回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

第7次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：丸木記念福祉メディカルセンター
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 番地
- 3 整備計画（増床）病床数： 50 床
（医療機能別内訳：地域包括ケア 50 床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 31 年 4 月
2	建築（着工）	平成 31 年 4 月
3	建築（竣工）	平成 31 年 8 月
4	医療従事者の確保	平成 31 年 4 月
5	使用許可（医療法）	平成 31 年 9 月
6	開設（増床）	平成 31 年 9 月

5 整備方針、目標

当院の開設者である社会福祉法人埼玉医療福祉会は、平成 29 年 10 月にくらしワンストップMOROHAPPINESS館（以下、「HAPPINESS館」という。）を開設し、館内には地域包括支援センター、在宅医療相談室を始め、訪問看護や訪問リハビリ等、在宅支援機能の移管に加え、往診を中心としたクリニック（在宅療養支援診療所）も開業し、地域包括ケアシステムの中心となる在宅医療の前線基地として支援体制を整えました。

また、市町村と組織した認知症初期集中支援チームを更に充実させ、認知症高齢者のみならず、独居高齢者の潜在的な医療ニーズの発掘により重症化を防ぐとともに入院必要時に速やかに受け入れる体制を構築します。入院後は、地域医療・介護ネットワークを活用し、在宅医療・介護、いきがい事業へと多職種による切れ目のない退院支援を実践して再発予防に取り組み、退院後も在宅医療の前線基地であるHAPPINESS館を中心として、医療・介護・福祉の一体的支援を行い、健康寿命を延ばすことに寄与していきます。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
地域包括ケア病棟	50床	回復期		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 2	
診療科 内科、緩和ケア内科、リハビリテーション科、精神科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 精神病床 58 床の精神科一般病棟を改修して、50 床の地域包括ケア病棟を立ち上げる予定です。		【増床後】 ○年間 300 人 ・自院から年間 10 人（3.4%） ・埼玉医科大学病院から 140 人（46.5%） ・国際医療センターから 50 人（16.6%） ・HAPPINESS 館クリニックから 20 人（6.7%） ・ケアハウス光の丘から 5 人（1.6%） ・光の丘（特養）から 25 人（8.4%） ・松寿園（東館含む）から 10 人（3.4%） ・グループホーム愛の家から 5 人（1.7%） ・毛呂越生町内の診療所から 20 人（6.7%） ・毛呂越生町内の介護保険事業所 15 人（5%）		
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）				
【増床前】		【増床後】 ○紹介元：埼玉医科大学病院、国際医療センター、HAPPINESS 館クリニック、光の丘（ケアハウス、特養）松寿園、グループホーム愛の家 悠久園、毛呂越生町内の診療所、地域包括支援センター及び介護保険事業所 ○紹介先：菅野病院、旭ヶ丘病院、麻見江ホスピタル、大生病院、HAPPINESS 館クリニック、毛呂越生町内の診療所、地域包括支援センター及び介護保険事業所		

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
内科病棟	48 床	回復期	44.1 日	94.0 %
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料 3	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
緩和ケア病棟	20 床	慢性期	34.8 日	73.6 %
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	緩和ケア病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
回復期リハビリ病棟	110 床	回復期	83.9 日	96.5 %
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 3	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
精神科一般病棟	232 床	慢性期	475.8 日	97.5 %
	精神	入院基本料・特定入院料	精神科病棟 15 対 1 入院基本料	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
精神科療養病棟	214 床	慢性期	1,804.5 日	99.3 %
	精神	入院基本料・特定入院料	精神科療養病棟入院料	
診療科				
内科、緩和ケア内科、リハビリテーション科、精神科				
診療実績				
<ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻増設術） 平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日 33 件 ・CT 撮影（16 列以上 64 列未満マルチスライス型機器） 平成 29 年度 595 件 ・脳血管疾患等リハビリテーション料 97,199 件（延べ人数） ・廃用症候群リハビリテーション料 43,633 件（延べ人数） ・運動器リハビリテーション料 33,876 件（延べ人数） ・精神科作業療法 平成 29 年度 66,382 件（延べ人数） 				

7 医療（介護）連携における課題、問題点

認知症患者の早期発見や身体合併症の重症化予防、内科病棟、回復期リハビリ病棟の待機患者数の解消が課題です。このため、現在、毛呂山町と認知症初期集中支援チームを発足し、認知症や身体合併症の重症化予防と早期発見を行っています。そして、町内全ての小学5年生を対象に認知症サポーター養成講座を毎年開催し、認知症対策の普及、啓発もを行っています。

また、病院からの退院支援時には必ず退院前カンファレンスを開催し、在宅療養を担うケアマネージャーや各事業所職員、訪問看護師等に参加頂き連携を図っており、回復期リハビリ病棟では在宅復帰率は80%を超えております。待機患者数は、季節により変動しますが、依然として多く存在しておりますので、スムーズな受け入れと退院支援を更に強化することが課題です。

第7次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：医療法人社団哺育会 笠幡病院
- 2 所在地（開設予定地）：川越市笠幡4955番地1
- 3 整備計画（増床）病床数：15床
（医療機能別内訳：緩和ケア 15床）
- 4 スケジュール

	項目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 32年 12月
2	建築（着工）	平成 33年 1月
3	建築（竣工）	平成 33年 9月
4	医療従事者の確保	平成 32年 2月
5	使用許可（医療法）	平成 33年 11月
6	開設（増床）	平成 33年 12月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

- 1、慢性期病院として、在宅にて対応困難な患者様の受入れ
- 2、麻酔科医師による疼痛コントロールを目的とした入院受入れ
- 3、往診、訪問診療による在宅支援
- 4、「在宅療養支援病院」として24時間体制による在宅支援
- 5、法人グループ内人事異動を含め、早期より人材の確保に努める

○新たに担う役割

- 1、緩和ケア病棟を開設するにあたり、がんによって生じる身体や心の痛みを和らげ、自分らしく生きられるようサポート及びケアを行う。また患者さんだけでなく、ご家族を含めたケアも行います。

○将来の方向性

- 1、緩和ケア病棟を開設し、入院の受け入れ、退院の支援、24時間体制での在宅支援、訪問看護ステーションとの連携強化
- 2、在宅緩和ケアの実施
 - ・機能強化型の在宅療養支援病院の取得（平成35年度取得目標）
 - ・在宅緩和ケア充実加算の算定届出（平成36年度算定目標）

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

- 1、現在も疼痛コントロールを目的とした患者様は受け入れを行っているが、専用の施設ではない為、患者様及びご家族様に不便をかけている。緩和ケア病棟を開設するにあたり、患者様及びご家族様には快適な入院生活を送っていただく

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
緩和ケア病棟	15床	急性期		
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 / 療養	入院基本料・特定入院料	緩和ケア病棟入院料 1	
診療科 内科、神経内科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科、歯科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 新規開設のため		【増床後】 ・急性期病院 90% ・慢性期病院 3% ・診療所、施設、在宅等 7% ・訪問診療を行う延べ患者数（予定） 350人／年間 平成29年度実績 延べ患者数238人 往診件数68件 緊急往診11件 看取り件数14件 平成30年度実績（平成31年1月迄） 延べ患者数285人 往診件数54件 緊急往診18件 看取り件数21件		
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）				
【増床前】 新規開設のため		【増床後】 紹介元 【病院】 埼玉医大総合医療センター、霞ヶ関南病院、池袋病院、武蔵野総合病院、赤心堂病院、帯津三敬病院、康正会病院、本川越病院、南古谷病院、三井病院、関越病院、埼玉医大国際医療センター、丸木記念福祉メディカルセンター、埼玉医科大学病院、至聖病院、埼玉石心会病院等 【診療所、施設等】 西部診療所、プライムケア川越、ミモザ川越、川鶴クリニック、鶴ヶ島在宅医療診療所、坂戸訪問診療所等		

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
1 病棟	60 床	慢性期	384 日	95.1%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 病棟	42 床	慢性期	416 日	95.0%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3 病棟	34 床	慢性期	304 日	94.1%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科 内科、神経内科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科、歯科				
診療実績 ○悪性腫瘍等の患者様の疼痛コントロール ○医療区分3（重症患者）の積極的な受け入れ ○常勤医師による詳細な全身管理 ○疾患に応じたリハビリテーションの充実 ○訪問診療部門との連携により緊急入院の対応 ○歯科医師との連携による口腔管理				

7 医療（介護）連携における課題、問題点

- 在宅医療を行う人材（医師や看護師）の確保と養成
- 在宅医療を支える医療資源の有効活用と情報共有
- ご家族の在宅医療・介護に関する知識の向上と相談体制の充実

第7次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名： 医療法人 愛和病院
- 2 所在地（開設予定地）： 川越市大字古谷上 983 番地 1
- 3 整備計画（増床）病床数： 6 床
（医療機能別内訳：周産期 6 床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成31年12月
2	建築（着工）	平成32年 2月
3	建築（竣工）	平成32年 3月
4	医療従事者の確保	確保済み
5	使用許可（医療法）	平成32年 4月
6	開設（増床）	平成32年 4月

5 整備方針、目標

今回、6床増床されますと、混雑時は、病室に入れたい患者様が発生しておりましたが、その解消が図れ、患者様のサービス向上が図れるとともに、3床部屋から4床部屋になることから、患者様の金銭的な負担軽減が図れます。

増床されますと、4床部屋6室、3床部屋3室、2床部屋2室、個室19室となりますが、現在、個室希望の患者様が多くなっていること、また、家族の宿泊を望んでいる患者様がいることから、将来的には、増築をし、個室とファミリールームを作ることを目標としています。

愛和病院での出産数については、2013年に2,874件となり、2014年に2,800件を下回ったもの、2015年、2016年、2017年、2018年は、2800件を上回っています。

一方、全国の出産数は、2016年に100万人を下回ってから徐々に減少し、2060年には50万人を下回る予想となっています。

また、その反面、1978年から2016年にかけて、産婦人科の病院数は、半減となっています。

今後、少子化が進むにつれ、産科の減少も進むものと思われます。当院では、患者満足度の向上を図り、選ばれる病院になるために、安全安心な医療を提供することはもとより、待ち時間の解消、患者さまへの丁寧な対応、患者さまの気持ちに合った対応を図ります。また、快適な空間を提供し、出産数の減少に歯止めを掛け、年間出産数2800人を維持出来るよう努力してまいります。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
一般病棟	6床	急性期		
	<input type="checkbox"/> 一般/ <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 7	
診療科 産科、婦人科、小児科、皮膚科、形成外科、麻酔科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 患者の受け入れについては、特にありません。 平成30年分娩取扱件数 年間2806人		【増床後】 患者の受け入れについては、特にありません。 分娩取扱件数 年間目標2800人		
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）				
【増床前】 ○紹介元： 特になし ○紹介先： 埼玉医科大学総合医療センター 自治医大附属さいたま医療センター		【増床後】 ○紹介元： 特になし ○紹介先： 埼玉大学医科総合医療センター 自治医大附属さいたま医療センター		

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
一般病棟	50床	急性期	5.1日	95.5%
	<input type="checkbox"/> 一般/ <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 7	
診療科 産科、婦人科、小児科、皮膚科、形成外科、麻酔科				
診療実績 2018年実績 分娩数 2806件、帝王切開 618件、硬膜外麻酔 466件 脊髄麻酔 148件、全身麻酔 3件				

7 医療（介護）連携における課題、問題点

特になし